



第68回関東地区高等学校PTA連合会大会 神奈川大会 参加募集のご案内

令和4年7月9日(土) 7月10日(日)

大会メインテーマ「つなぐ——学び、行動するPTA」

会場参加と
オンライン限定配信視聴
(アーカイブ配信あり)
のハイブリッド開催

参加申し込みは
Webシステムを利用

記念講演
増田 明美さん

神奈川大会実行委員長より皆さまへ

3年ぶりの開催となる関東大会は「つなぐ」がテーマです。

関東地区各県のPTAをつなぎ、未来のPTAにつなぎ、つなげなかった期間の思いをつなぎます。感染拡大防止策を講じた会場とオンライン配信のハイブリッドで、皆さまのご参加を楽しみにお待ちしております。

当日はスペシャルゲストの登場もありますので、ご期待ください。

第68回関東地区高等学校PTA連合会大会

神奈川大会実行委員会 実行委員長 米山 賢

第68回関東地区高等学校PTA 連合会大会

神奈川大会開催要項

- 1 趣 旨 関東地区高等学校PTA 連合会の会員が新しい生活様式の下で一堂に会し、PTA 活動について意見・情報交換を行い、今後のPTAのあるべき姿を示すことにより、青少年の心と体の健全な成長を促し、自主性・社会性や正義感・倫理観を有する豊かな人間性育成の一層の充実に寄与する。
- 2 主 催 関東地区高等学校PTA 連合会
- 3 共 催 一般社団法人全国高等学校PTA 連合会
- 4 主 管 神奈川県立高等学校PTA 連合会
- 5 後 援 神奈川県、神奈川県教育委員会
- 6 協 賛 一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会
- 7 参加者 栃木県、千葉県、埼玉県、群馬県、茨城県、山梨県、神奈川県の各高等学校及び中高一貫教育校・中等教育学校並びに特別支援学校のPTA 会員
- 8 大 会
 - 全体会 令和4年7月9日(土) 会場(パシフィコ横浜会議センター)と
オンライン限定配信の併用
 - 分科会 令和4年7月10日(日) オンライン限定配信のみ
 - 第1分科会(学校教育とPTA)
 - 第2分科会(進路指導とPTA)
 - 第3分科会(生徒指導とPTA)
 - 第4分科会(家庭教育とPTA)
 - 第5分科会(学び、行動するPTA)

アクセス



9 日 程

1日目:7月9日(土)全体会

注意:会場内では、お食事はできません。(飲み物は可) 昼食を済ませてからお越しください。

時 間	行事内容	会 場	オンライン配信		
12:00~	受付開始	パシフィコ横浜 会議センター	当日	アーカイブ	
12:55~	<司会:大河原あゆみ(フリーアナウンサー)> 開会・日程説明		○	○	
13:00~13:30	高校生アトラクション ・神奈川県立相模原中等教育学校 ・神奈川県立厚木高等学校		【会場参加の場合】 パシフィコ横浜会議 センター内のいずれか の会場になります。		○ 7/14(木) から (ただし、 記念講演は 7/20(水) まで)
13:30~ 15:00~16:30	開会のことば・表彰式・大会宣言等 記念講演 演題:自分という人生の長距離ランナー 講師:増田 明美(スポーツジャーナリスト)		・1階会場 (メインホール) ・3階会場(中継会場) ・5階会場(中継会場)		
16:30	全体会終了				

2日目:7月10日(日)分科会

注意:会場での参加はありません。オンライン配信をお楽しみください。

時 間	行事内容	配信形式	当日	アーカイブ
9:30~ 11:40~	第5分科会「学び、行動するPTA」 演題:青少年のゲーム・インターネット 依存の現状と治療 講師:樋口 進(久里浜医療センター 名誉院長) 神奈川大会 閉会	オンライン限定 ライブ配信	○	○ 7/14(木) から
午後~	第1分科会「学校教育とPTA」 提案校:千葉県立沼南高柳高等学校 :茨城県立高萩清松高等学校 第2分科会「進路指導とPTA」 提案校:埼玉県立皆野高等学校 :群馬県立渋川工業高等学校 第3分科会「生徒指導とPTA」 提案校:群馬県立太田高等学校 :栃木県立足利工業高等学校 第4分科会「家庭教育とPTA」 提案校:山梨県立甲府東高等学校 :神奈川県立小田原高等学校	事前に録画した映 像を配信 すべての分科会を 視聴することがで きます。	○	○

講師紹介

1日目:記念講演

演 題 「自分という人生の長距離ランナー」

講 師 スポーツジャーナリスト・大阪芸術大学教授

増田 明美(ますだ・あけみ)さん



プロフィール

1964年、千葉県いすみ市生まれ。成田高校在学中、長距離種目で次々に日本記録を樹立する。1984年のロス五輪に出場。現役引退後、永六輔さんと出会い、現場に足を運ぶ“取材”の大切さを教えられ大きな影響を受け、駅伝・マラソン中継では選手の「人」に迫る解説に定評がある。現在はコラム執筆の他、新聞紙上での人生相談やテレビ番組のナレーションなどでも活躍中。2017年4月～9月にはNHK朝の連続テレビ小説「ひよっこ」の語りも務めた。2001年から10年間、文部科学省中央教育審議会委員を務め、日本パラ陸上競技連盟会長など公職多数。2022年3月、放送事業の発展や放送文化の向上に功績のあった方に贈られる「放送文化賞」を受賞。

<増田明美さんから皆さまへメッセージ>

感受性豊かな子ども達にとって、家庭や学校でのムードは大切です。

スポーツの現場での指導者と女子選手の関係性を例に、よいチームのあり方をご紹介します。

また、私自身の体験談から、挑戦し続けることの大切さをお話ししたいと思います。

2日目:第5分科会「学び、行動するPTA」



演 題 「青少年のゲーム・インターネット依存の現状と治療」

講 師 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター名誉院長

WHO物質使用・嗜癖行動研究研修協力センター長

慶應義塾大学医学部客員教授

樋口 進(ひぐち・すすむ)先生

プロフィール 依存症患者に対する治療法に疑問を抱き、1982年に現久里浜医療センターに入局後は長年にわたり多くの依存症患者の治療に携わっている。最近では、2019年5月にWHO(世界保健機関)が「ゲーム依存症」を国際疾病分類に認定する際に多大なる尽力をするなど依存症治療の第一人者である。

コロナ禍における子どもの依存の現状やどういった治療を行っているのか、保護者等として、社会として、子どもが依存症に陥らないためにどのような対策が必要か、などについてお話をいただきます。